

活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員



井上重久 No.75 だより

令和7年1月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 永石 正司 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



「福田織龍神」の和太鼓演奏(12月8日 福田小グラウンド)

地域「コミュニティ」の繋がりに!
ご家族お揃いで健やかなお正月を迎える事とお慶び申し上げます。皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。
福田中学校区青少年育成協議会は、青少年の健全育成を図ることを目的に、2024年12月8日「第26回福田ロードレース大会」を開催、学校関係者や自治会を含めた地域社会、家庭や行政などが連携して各種行事・事業を行ない、地域の繋がりを(絆)をつくっています。
開会式では、主催者・来賓者から「最後まで諦めないで完走してほしい」、「地域のイベント等を通じて活性化に努めよう。青少年健全育成のため地域の皆さんで子ども達を見守ってほしい」との挨拶がありました。



福田ロードレース大会(12月8日 福田小グラウンド)

元気な走り「ラン」ルール!
レースは、小学生の736mから中学生・一般の3036mまで選手の皆さんが、可愛い幼児競走ではゴールの賞目指して、子ども達が元気な走りを見せてくれました。また、この大会に合わせて、福田地区で継承されている小学生による「福田織龍神」の和太鼓演奏も披露され、アンコールに込めたバチさばきに圧倒されました。
当日はコミュニティ連絡協議会きずな部会を中心に「ぜんざい」が準備され、応援にかけつけた参加者全員に振る舞われました。本年も皆様の「ご指導・ご鞭撻をお願いするとともに、「ご健勝・ご多幸」を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。寒さ厳しき折、お身体ご自愛ください。

長崎市議会議員 井上 重久



100年に1度のまちづくりの形が大きく変わる!
長崎駅周辺再整備工事、多目的広場・東口交通広場工事(一般乗降場、自動車整理場)2026年9月末完成予定!



第47回長崎郷土芸能大会
(11月10日 長崎市民体育館)



長崎市戦没者追悼式
(11月1日 平和会館ホール)



第26回市民体育・レクリエーション祭開会式
(10月14日 市営かきどまり陸上競技場)



第36回長崎鋼業所労組大会
(12月6日 長鋼食堂)



2024ながさき実り・恵みの感謝祭
(11月23日 長崎駅かもめ広場及び東西軸)



第55回市民防火の集い
(11月13日 長崎市民会館文化ホール)

活動の備忘録

10月~12月

建設水道委員会報告要旨(12月5日~9日)

公の施設の指定管理者の指定について
(指定管理者制度による管理運営に係るもの)
設定期間(令和7年度~令和11年度)

- ◆ 稲佐山公園及び長崎ロープウェイ …… 7億6,902万円
- ◆ 長崎東公園 …… 5億3,724万円
- ◆ 長崎市総合運動公園 …… 7億500万円
- ◆ 長崎公園 …… 1億2,720万4千円
- ◆ 長崎市築町二輪車等駐車場 …… 904万5千円
- ◆ 市営住宅及び共同施設 …… 31億5,260万2千円 など

2025年(令和7年)の干支の置物「白蛇大寿」



この干支の置物「白蛇大寿」は、雲仙市小浜町の就労継続支援B型事業所「よるこびの里」の皆さんが製作した作品です。十二支の「巳(み)」は胎児の形から派生した文字で「新しく生まれてくる」「将来・未来がある」「子孫繁栄」などの意味があるそうです。
巳(み)の縁起話は、ヘビは脱皮を繰り返して成長することから、「生命力」や「再生」を連想させます。巳年生まれの特徴は、常に目標に向かって自分を高め、計画を周到に練りながら冷静に物事を進めることが出来るそうです。本年もご健康で幸多き年でありますようにご祈念申し上げます。

編集後記

▼新年明けましておめでとうございます。表紙は、福田中学校区青少年育成協議会の第26回福田ロードレース大会、小学生・中学生のレースのなかで「生懸命に最後まであきらめず走る姿」、福田織龍神の和太鼓演奏に心打たれ、新年号の表紙に載せました。
▼10月27日投票が行われた「第50回衆院総選挙」は、「西岡秀子さん」87,784票を獲得し3回目の当選を果たした。長崎一区の候補者は5人、終盤戦は巨大な権力・組織との戦いとなったが、友好政党や西岡後援会、連合長崎・支援労組をはじめとする多くの皆様のお力で勝利することが出来た。

▼国民民主党は、公示前の7議席から4倍の28議席に躍進し、総選挙で訴えた政策実現に向けての協議を進めている。手取りを増やす政策では、所得税が生じる「103万円の壁」に関し、2025年から「178万円を目指す」と国民民主、自民、公明の3党で合意している。
また、ガソリン税に上乗せされている暫定税率は、廃止の時期は合意に至っていないものの、「廃止する」としている。



ご相談はお気軽に!
長崎市議会議員 井上重久

自宅 長崎市大浜町408 ☎865-3553
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎828-7422
http://inoueshigehisa.net/



井上重久ホームページはこちらから

一般会計補正予算78億1,806万2千円、の101議案を可決・同意!



主な補正予算

- ◆長崎被爆体験者支援費
：481万9千円
令和6年12月1日から「第二種健康診断特例区域治療支援事業」が創設され、第二種健康診断受診者証を所持している者のうち、11の障害を伴う病気にかかっている者を対象として、幅広い一般的な疾病について被爆者と同等の医療費助成を行うため、その医療受給者証の交付に関する審査会経費や医療費助成等の経費を増額するもの。
- ◆基金積立金
：24億9,903万4千円
- ◆国・県支出金など返還金
：17億7,202万5千円
- ◆障害者自立支援給付費

令和6年第4回長崎市議会定例会は、11月26日から12月13日までの18日間の日程で開催された。補正予算は、子ども医療対策費等の施策推進に係るもの、基金積立金など補正予算総額78億1,806万2千円。国民健康保険事業1億2,790万2千円、介護保険事業8億6,422万5千円など特別会計補正予算に8億4,879万5千円など、総額86億3,007万6千円が可決された。

条例改正は、道路占用料条例等の一部改正、高島いやしの湯条例を廃止する等の条例など。公の施設の指定管理者の指定について(43施設)など、決算15件、人事1件、予算19件、条例15件、その他48件、報告3件を可決・同意した。

また、「長崎市宮松山陸上競技場の現地存続を求める請願書」は不採択となった。

- サービスの利用が当初の見込みを上回ったことなどにより、不足する給付費を増額するもの。
- ◆介護給付費
：3億8,486万5千円
- ◆訓練等給付費
：3億8,571万1千円
- ◆障害者福祉費事務費
：5,824万5千円
障害者総合支援事業費補助金を活用し、サービス事業者の事務作業や市における認定事務の効率化等を図るため、福祉系システムの改修を行うもの。
- ◆子ども医療対策費
：1億7,803万3千円
入院・通院件数が当初の見込みを上回ったことにより、不足する助成額を増額するもの。



事業の進捗を図るため、予算を増額

- ◆定期予防接種費
：1億8,742万1千円
HPVワクチンの接種件数が当初の見込みを上回ったこと等により、不足額を増額するもの。
- ◆物価高騰対応重点支援給付金給付事業費
：22億2,472万2千円
物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するための物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、個人住民税非課税世帯に3万円、及び同世帯のうち、子育て世帯については子ども1人当たり2万円の現金を加算し、可及的速やかに支給するもの。
- 【対象】
①住民税非課税世帯
66,367世帯×3万円



旧オルト住宅

- ②住民税非課税世帯の児童
19億9,101万円
6,133人×2万円
1億2,266万円
- ◆一般会計継続費
継続費総額
6億円↓7億670万円
設定期間
令和4年度〜令和7年度
令和4年度〜令和8年度
- ◆国指定重要文化財旧オルト住宅
：1億670万円
解体工事完了後、再度調査したところ、想定よりも劣化状況が進んでいることから、保存修理に係る継続費総額の増額及び事業期間の延長とともに、年割額を変更するもの。

防災対策特別委員会

総括質疑(要旨)

12月11日



より孤立した想定で、海路からの物資輸送を長崎市と海上保安部と合同で訓練を実施し、11月6日にはサンセットマリナーにより地域の方々と連携して海の駅を利用した人員の輸送実験が実施された。

長崎市における「海の駅」については、現在、長崎サンセットマリナーと長崎出島ハーバーの2箇所が登録されており、非常に有効な輸送拠点となることが今回の訓練や実証実験により、関係機関との連携も含め確認することができた。

和2年度から構築し、迅速かつ円滑な被災者への物資支援を行うことができるよう、3者で運用を行っている。

このシステムは、避難所ニーズの把握や物資の要請輸送などを一元管理することができ、避難所状況管理機能、物資支援要請機能、調達・輸送状況管理機能、物資在庫管理機能がある。

なお、このシステムの他、九州内の119市が連携する九州市長会や県内の21市町においても、備蓄品保有状況を共有し、他の地域で災害が発生した

場合に支援物資を迅速に提供できる体制を整えている。

質問：自主防災組織における防災活動の課題解決は？
回答：自治会への加入率の低下や、会員の高齢化により、地域の担い手が不足していることは認識しており、これら課題を解決していくためには、これまでの手法にとらわれない自主防災組織の結成促進や既存組織の活動活性化を進めていくことが重要である。

現在、連合自治会や地域コミュニティ連絡協議会単位での防災活動を提案することで、単位自治会の枠にとらわれない自主防災組織の結成促進及び活動の働きかけを積極的に行っている。

単位自治会での自主防災組織の結成についても、よりきめ細やかな支援者に寄り添った身近な活動が期待できることから、これまでのように推進していくことが重要である。



福田中学校防災授業「災害時輸送実験」

質問：「海の駅」を活かした防災拠点に係る社会実験、災害時における合同物資輸送訓練、災害時輸送実験を踏まえての、国・県・市の連携による、物流拠点としての対応は？
回答：能登半島地震では、がけ崩れなどにより道路が寸断されたことで、孤立集落が発生し、人や物資が滞るといった問題が発生しました。長崎市においても同様に半島を有しており、孤立地域が発生するリスクがあると認識している。

そうした中、今年の10月2日に福田地区が地震の被害に

今後、大規模災害が発生した際に、物流拠点として「海の駅」を活用することができるよう、国や県の関係機関及び長崎サンセットマリナー株式会社と引き続き連携強化に努める。

質問：物資支援における調達・輸送支援・体制整備支援システムへの登録・構築の対応は？
回答：内閣府において、国・県・市の3者がリアルタイムで物資の調達・輸送等に必要な情報を共有し、調整を効率化することができ「物資調達・輸送調整等支援システム」を令



長崎サンセットマリナー「海の駅防災拠点」へ

質問：地域防災マップの作成や更新、見直しの対応は？
回答：地域防災マップの見直

しは、今年度新たな取組みとして始めたコミュニティタイムラインの導入を契機に、地域防災マップとコミュニティタイムラインが連動した形の地域防災マップの作成を全会へ文書にて呼びかけた。

今後は、これまで行ってきた作成から5年を目途に地域の変化に応じた見直しと併せて、新たなタイムラインの考え方を加味したマップの作成を提案するとともに、今年度内に全自治会にアンケートを行いマップの見直しを希望する自治会に対し積極的に提案し、作成支援を行っていく。